

青森で生まれ、いわき市で暮らし、 神戸に生まれました！

神戸へゆうゆうの里

大隅正司様(75歳) 平成28年10月 一人入居

自分にぴったりだった
いわき市“の暮らし”

青森県出身。父が漁師の家庭でした。就職し9年ほど経った時に福島県いわき市に転勤になりました。気候も海や山が近い事もすべてが最高だと思い、そこに自宅を購入しました。素潜りやスキーが趣味の自分にぴったりの天地でした。いわき市には38年間住みました。60歳で定年退職してからは趣



クルーズ船「飛鳥II」にてキャプテン、フロントオフィサーと(中央が大隅様)



なって、逆に鏡面のよう
な静かな海はおもしろく
なくなる。「なんで荒れ
ないんだ！」と思うよう
になるんです(笑)。その
旅で26ヶ所ほど回って印
象に残っているのはエー
ゲ海サントリーニ島の青いドーム
型の屋根の美しさ。それにピラミッ
ドの石の大きさにもびっくりです。
今まで何十年もサラリーマンとし
て忙しく過ごしてきたから、何も
しない船上の時間は心地よく、プー
ルや船の舷先でぼーっと海を眺め
ているのは最高です！

不動産をのこさない選択

一人できるといつ何があるかわ
からないと思い、現役の50歳ぐら
いから老人ホーム入居を考えまし
た。俺は一人だから死んだときに
不動産をのこすと、のこされた人
たちに迷惑がかかる。そう考えて
元気な内に決めておこうと思いま
した。初めての体験入居は58歳
ときの湯河原へゆうゆうの里で
した。以来いろいろな施設を見て
きました。資金的な事を心配しな
がら暮らすのも、余暇を楽しむ資
金的な余裕がないことも嫌でした。
ホームを選ぶために、自分なりの
「項目別評価表(16項目)」を作っ
て点数をつけて行きました。その

重要項目に「クルーズに乗船しや
すい場所」というのがありました。
ともかく一番合計点数が高かった
のが神戸へゆうゆうの里でした。
入居してほんとに安心していま
す。
しなければいけない決まりは
ない。好きな時に好きなこと

朝食はゆつくりと部屋でたべて、
午前中は家事と日課の天気・気温・
血圧等すべてをパソコン入力。昼
食と夕食は9割くらい大食堂を
利用します。あとは部屋で6種
類の運動とエレベーターを使わず
5階まで往復。これをやらないと
なんだか気持ち悪い。週に2、3
回は万代スパまで歩いて買い
物。掃除は嫌いですが、部屋のメ
ンテナンスは好きです。レンジフ
ード、サッシや網戸も年2回は全部
ばらして掃除します。サークルに
は参加しなくても、5年も暮らす
と自然と友達ができます。夕食時
に座る場所が近くだった男性4人
が仲良くなりました。コロナ前ま
では月に一回「いきなりステーキ」
や「くら寿司」でディナーを楽し
んでました。

クルーズはあと7か所、南極・
北極グリーンランドやイースター
島などが住んでいないところに
行きたいです。北極点の氷上でバー
ベキューを楽しんでみたい。

「乗るんじゃなかった！」初めてのクルーズ

退職後の一番の夢は「世界一周クルーズ」。退職した年、102日間の世界一周クルーズをした時のことはよく覚えています。横浜港から神戸に寄港した後、低気圧に入って船が大揺れに。あまりの船酔いに「乗るんじゃなかった！」と大後悔しました。丸一日何も食べられず、鏡をみたら顔が幽霊みたいになっていました。しかし、不思議なもので、しばらく乗っていると体が順応し船酔いしなく